

令和5年度中学部 3年（訪問課程 IIcグループ） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等		担当者名	
7		なし			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。 (小1段階) (思判表力) 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。(小1段階) (学・人) 言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。(小2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規 準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	7	【A 聞くこと・話すこと】 (知及技) 日常生活の中で使われている言葉に慣れ、言葉が気持ちや要求を表していることができる。 (思判表力) 身近な人からの話しかけに注目したり、表情や体の動き、声を出して応じることができる。 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じとり、表情や声を出して答えようとする態度を身に付ける。	(知・技) 日常生活の中で使われている言葉聞いて、言葉が持つ雰囲気を感じ、注目しようとしている。 (思・判・表) 身近な人からの話しかけや示された事物に気付き、注目したり、表情や体の動き、声を出して伝えようとしている。 (主学) 問いかけに対し、表情や体の動き、声を出して積極的に伝えようとしている。	・挨拶の言葉 ・新しい先生・クラスの仲間 ・呼んでみよう・返事をしよう ・季節を楽しもう ・動画視聴	・「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」など日常で使われている言葉を知り、表情や体の動き、声を出して伝える。 ・季節に関する行事の話を iPad の動画視聴を行ったり、一緒に季節の作品を作ったり、季節に関する物に触ったりするなどのやり取りを行い、季節の言葉の内容を感じ取り、注目する。
2 学期		【B 書くこと】 (知及技) いろいろな筆記用具に触れ、書くことに親しむことができる。 (思判表力) 文字に興味をもち、書こうとすることができるようにする。 (学・人) 言葉かけに注目したり、表情や体の動き、声を出して伝えようとする態度を身に付ける。	(知・技) いろいろな筆記用具に触れ、教師と一緒に文字を書こうとしている。 (思・判・表) 毛筆を用いて、自分なりの表現で書いている。 (主学) ・毛筆で書くことを通して、自分の考えや気持ちを表現しようとしている。	・色を塗ろう ・書き初め	・絵本に出てくる登場人物や物の絵に、クレヨンやマジック、指筆など様々な筆記用具を使って色を塗る。 ・筆を用いて線や点などを書いたり、教師と一緒に文字を書いたりする。
3 学期					

	【C 読むこと】 （知及技）言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物イメージに触れたりすることができるようにする。 （思判表力）（思判表力）教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物に気付き、注目することができる。 （学・人）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養うことができる。	（知・技）声や言葉を使った遊びや関わりなどを通して、言葉の響きやリズムを楽しんでいる。 （思・判・表） 絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを教師と一緒に模倣したりしている。 （主学） 声や言葉を使った遊びや関わりなどを通して、言葉の響きやリズムに興味をもって楽しんでいる。	・絵本の読み聞かせ ・動画視聴 ・ことばと感触	・絵本の読み聞かせを行い、歌、動画などを見て、絵や繰り返される効果音や台詞などに注意を向ける。 ・触覚、視覚、聴覚、嗅覚の様々な感覚を刺激する活動を行い、その時に感じる感情の言葉や感触を表情や体の動き、声を出して伝える。
留意点引継ぎ等				

令和5年度 中学部3年訪問（II課程Cグループ） 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等			担当者名
3.5		なし			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現できる。 (学・人) 自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとすることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3.5	【社会のしくみと公共施設】 (知及技) 身近な人や公共施設などが、どのように自分と関わっているのかということに気付くことができる。 (思判表力) 先生や友達など身近な人や、教室や公共施設などの様子について気付いたことを表情や発声で教師に伝えることができる。 (学・人) 先生や友達など身近な人や、教室や公共施設などの様子について関心をもつことができる。	【社会のしくみと公共施設】 (知・技) 公共施設や教室の使い方について、教師の働きかけや話しかけに気付き、働きかけている相手を理解しようとしている。 (思・判・表) 教師の働きかけに気付き、表情や身振り、発声などの反応で伝えようとしている。 (主学) 教師の働きかけに応じて、公共施設や教室の使い方について関心をもち、教師と一緒に取り組もうとしている。	【社会のしくみと公共施設】 ・学校探検をしよう	【社会のしくみと公共施設】 ・教師と一緒に校内の施設の写真や動画でワークラリーをおこない、その教室の雰囲気を感じたり、利用の仕方について知り、楽しんだりする。
		【きまり】 (知及技) 身の回りの簡単なきまりに従い、教師と一緒に行動できるようにする。 (思判表力) 簡単なきまりに気付き、気付いたことを表情や発声で教師に伝えるようにする。 (学・人) 身の回りの簡単なきまりに関心をもてるようにする。	【きまり】 (知及技) 身の回りの簡単なきまりについて、教師の働きかけや話しかけに気付き、働きかけている相手を理解しようとしている。 (思判表力) 身の回りの簡単なきまりについて、教師の働きかけに注意を向け、表情や身振り、発声などの反応で伝えようとしている。 (主学) 身の回りの簡単なきまりについて関心をもち、教師の働きかけを受け止めて、相手を見ようと動きを止めたり、表情を変えようとしている。	【きまり】 ・学校生活のきまりを知ろう ・交通ルールについて知ろう	【きまり】 ・時間を守るなどの学校のきまりを守りながら、教師からの言葉かけや合図を聞いて、教師と一緒に行動する。
		【社会のしくみと公共施設】 (知及技) 身近な人や公共施設などが、どのように自分と関わっているのかということに気付くことができる。 (思判表力) 先生や友達など身近な人や、公共施設などの様子について気付いたことを表情や発声で教師に伝えることができる。 (学・人) 先生や友達など身近な人や、教室や公共施設などの様子について関心をもつことができる。	【社会のしくみと公共施設】 (知・技) 公共施設の使い方について、教師の働きかけや話しかけに気付き、働きかけている相手を理解しようとしている。 (思・判・表) 教師の働きかけに気付き、表情や身振り、発声などの反応で伝えようとしている。 (主学) 教師の働きかけに応じて、公共施設の使い方について関心をもち、教師と一緒に取り組もうとしている。	【社会のしくみと公共施設】 ・修学旅行に行こう	【社会のしくみと公共施設】 ・教師と一緒に修学旅行等を通して、見学先の場所や名称を知ることができるようにする。 ・教師と一緒に公共施設や公共交通機関を利用してその雰囲気を感じたり楽しんだりする。
留意点引継ぎ等					

令和5年度 中学部3年 訪問Ⅱ課程Cグループ 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等			担当者名
3.5		なし			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)身の回りのものに気付き、対応させたり、組み合わせたりすることなどについての技能を身に付けるようにする。 (思判表力)身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心をもって関わる力を養う。 (学・人)数量や図形に気付き、数学的活動の楽しさに関心をもって取り組もうとする態度を養う。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 2 学期 3 学期	3.5	【A 数量の基礎】 (知及技) 具体物に気付き、つかもうとしたり、目で追ったりすることができる。(小1段階) (思判表力) 具体物に気付き、つかもうとしたり、目で追おうとすることができる。(小1段階) (学・人) 数量に気づき、数学の学習に関心を持って取り組むことができる。(小1段階)	(知・技) スイッチを見せたり触らせると、スイッチに気付き視線や反応をみせる。 (思・判・表) スイッチに気付くと、スイッチに向かって手を伸ばしたり指を曲げたり表情を変えたりと反応をみせる。 (主学) スイッチを押した後、教師に褒められたりすると、教師に注目する。	スイッチ学習	・授業開始時と終了時にスイッチを生徒の手の届くところに持ってきて「押してください」と言葉掛けをする。スイッチを押したときには褒める。
		【B 図形】 (知及技) 教師と一緒に身のまわりのものに触れ、その形の違いなどに気づくことができる。(小1段階) (思判表力) 身の回りの具体物に触れて、快不快などが自分なりに表現できる。(小1段階) (学・人) 図形に気づき、数学の学習に関心を持って取り組もうとすることができる。(小1段階)	(知・技) 日めくりカレンダーやカレンダーの数字をなぞることで数字カードや天気カードを見て手を伸ばしたり注目する。 (思・判・表) 興味のある形や感触を確かめようとしている。 (主学) カードに触れた後、教師にお礼を言われたり褒められたりすると、教師に注目する。	日付や天気の確認	・カレンダーボードの中から「今日の日付ですよ」「今日の天気ですよ」となどと言って日付の数字や曜日マーク、天気マークのカードを取って生徒の近くで示す。カードは触感で伝わるように立体的にし工夫する。 ・カードに触った時には褒め、触って何らかの反応を示した時には「触ると気持ちがいいね」などと言葉掛けをする。
		【C 測定】 (知及技) 身のまわりにあるものの量の大きさに気付くことができる。(小1段階) (思判表力) 身のまわりにあるものの大きさや長さなどの量の違いに注目することができる。(小1段階) (学・人) 数量に気づき、数学の学習に関心を持って取り組もうとする態度を身につける。(小1段階)	(知・技) 身の回りの具体物の有無に気付き、教師と一緒に触って確認しようとしている。 (思・判・表) 具体物に触れ、大きさや長さを確認し、表現や仕草、声を出して伝えようとしている。 (主学) 具体物に触れた後、教師にお礼を言われたり褒められたりすると、教師に注目する。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	季節を感じよう	・季節の作品作りの際、教師と一緒に自然物や材料に触れ、大きさや長さを確認する。
留意点 引継ぎ等					

令和 5年度 中学部3年 訪問Ⅱ課程C 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等			担当者名
3.5		なし			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)活動や体験の過程において、身近な教師の関わり、天気、季節の特徴に気づき、注意を向けることができる。(小1段階) (思判表力)身近な教師の関わり及び天気、季節の特徴に気づき、感じたことを表情や体の動きで伝えようとする。(小1段階) (学・人)身近な教師や天気、季節の特徴に関心をもち、自分から関わろうとする。(小1段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3.5	①知及技 ・身の回りにある生命や自然に 気付くことができる。	(知・技) ・季節の雰囲気視覚的・聴覚 的・触覚的に感じている。	季節を感じよう！ ・天気の確認 ・自然を感じよう ・天体観察 (春・夏・秋・冬) ・近所散歩	・今日の天気の写真や動画または窓辺を見ながら、視覚的・聴覚的・触覚的に外の雰囲気を 感じる。
2 学期		①思判表力 ・身の回りにある生命や自然に 気付く、関心をもちことができる。	(思・判・表) ・季節の植物や小動物に触れ、 その感触を表情や体の動き、声 を出して伝えようとしている。	季節の植物 「ムーチーの葉っぱ」 「桜」 「落ち葉」	・それぞれの季節に関する草花を観賞してみ たり、実際の植物に触れたりして違いを感じ る。
3 学期		①学・人 ・身の回りにある生命や自然に 関心をもち、表情や体の動き、 声を出して感じたことを伝えよ うとする態度を身に付ける。	(主学) ・身の回りにある生命や自然に 関心をもち、表情や体の動き、声 を出して感じたことを伝えようとし ている。	身近にいる動物や虫 「せみ」	・身近にいる虫を観賞してみたり、実際に触 れたりして生命の大切さを感じる。
留意点 引継ぎ等					

令和5度 中学部3年 訪問Ⅱ課程C 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等			担当者名
10.5		なし			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心に向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりに つながる技能を身に付けるようにする。 (思判表力)音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。 (学・人)音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しむものにしよう とする態度を養う。(小1段階)			
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	10.5	【A 表現】 (知及技) 表現する音や音楽に気付き、楽しむこ とができる。(小1段階) (思判表力) 教師と一緒にいろいろな楽器に触れ、 感じたことを自分なりの方法で表現す ることができる。(小1段階) (学・人) いろいろな音や歌、楽器に親しみ、生 活を楽しめるものにしようとする態度を身 につける。(小1段階)	(知・技) 音や音楽に気づき、表情を変えたり体 を動かしたり声を出したりして楽しも うとしている。 (思・判・表) 教師と一緒にいろいろな楽器に触れ、 感じたことを自分なりの方法で表現し ようとしている。 (主学) いろいろな音や歌、楽器に親しみ、表 情や体の動き、声を出して楽しもうと している。	(歌唱) 朝の歌 校歌 季節の歌 (器楽) 楽器に触れる 《生活単元学習》	(歌唱) 教師と一緒に曲の全部または一 部を歌ったり、声を出したり、 口を開けたり、息を吹いたりす る。 (器楽) 鈴、鉄琴、太鼓、ギロなどの楽 器を自分で持ったり、教師と一 緒に楽器を持ったりして、音を 鳴らす。
2 学 期		【B 鑑賞】 (知及技) 聞こえてくる音や音楽に気づき、注目 することができる。(小1段階) (思判表力) 音や音楽を聴いて、自分なりに楽しさ を見つけ、自分なりの方法で表現するこ とができる。(小1段階) (学・人) いろいろな音や歌、楽器に親しみ、生 活を楽しめるものにしようとする態度を身 につける。(小1段階)	(知・技) 聞こえてくる音や音楽に気づき、注目 しようとしている。 (思・判・表) 音や音楽を聴いて、自分なりの方法で 反応しようとしている。 (主学) いろいろな音や歌、楽器に親しみ、表 情や体の動き、声を出して楽しもうと している。 【評価資料】活動の様子の観察で評価 する。	(音楽鑑賞) ・日本の童謡 ・英語の歌 ・クラシック ・雨や波など自然の 音 ・交響曲 ・身の回りにある素 材 が奏でる音	(音楽鑑賞) いろいろな楽器や素材の音、音 楽、自然の音などを聞く。
3 学 期					
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 中学部3年（訪問課程IICグループ） 美術科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等			担当者名	
10.5		なし				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度						
年間目標		(知及技) 形や色などに気付き、材料や用具を使おうとするようにする。 (思判表力)表したいことを思い付いたり、作品を見たりできるようにする。 (学・人)進んで表したり見たりする活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くとともに、形や色に関わることにより楽しい生活を創造しようとする態度を養う。(小1段階)				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容	
1 学期	10.5	【A 表現】 (知及技) 身の回りの自然物に触れながらかく、切る、ぬる、はることができる。(小1段階) (思判表力) 身の回りにあるものを見たり、触れたりして、形や色の面白さを感じとり表現することができる。(小1段階) (学・人) いろいろな技法を知り作品を制作し、つくりだすことの楽しさを感じることができる。(小1段階)	(知・技) 教師と一緒に自然物や道具などいろいろなものに触れ、制作作業をすることができる。 (思・判・表) 教師と一緒に自然物や道具などに触れ、感触の違いに気付き、自分なりの表現で伝えようとしている。 (主学) 作品をつくりだす楽しさに気付き、自分なりの表現で伝えようとしている。	季節の制作物 《生活単元学習》 ・お花紙、絵の具、のり、シールを使ってみよう。 ・母・父の日プレゼント作り ・「にぎってみよう」(粘土型抜き) ・「絵の具に挑戦」 ・「すてきなもののいっぱい」 ・「つないでつるして」(造形遊び)	・教師と一緒にいろいろな技法や補助具を使って、季節にちなんだ制作活動に取り組む。 ・いろいろな素材や自然物に触れて感触を味わいながら制作する。 ・粘土の型抜きや片栗粉をにぎって感触を味わう。 材料や用具に触れながら描く。 ・身の回りの布や毛糸、葉っぱや木の実に触れてみよう。	
2 学期						・セロファン、画用紙、紐などをはさみで切ってつないだり結んだりして造形遊びをしよう。
3 学期			【B 鑑賞】 (知及技) 身の回りにあるものや作品に気付き、注目することができる。(小1段階) (思判表力) 身の回りにあるものや作品を見たり、触れたりして、形や色の面白さを感じとることができる。(小1段階) (学・人) 自分たちの作品などを見て、つくりだすことの楽しさを感じることができる。(小1段階)	(知・技) 身の回りにあるものや作品に視線を向けている。 (思・判・表) 作品に触れ、感触の違いや色や表現方法に注目し、感じたことを自分なりの方法で伝えようとしている。 (主学) 作品をつくりだす楽しさに気付き、自分なりの表現で伝えようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	作品鑑賞 《生活単元学習》 「触覚鑑賞」	・完成した作品を見たり触れたり、遊んだり飾ったりして、鑑賞する。
留意点引継ぎ等						

令和5年度 中学部3年 訪問Ⅱ課程C 保健体育 年間指導計画

単位数／ 配当時数	教科書／副教材等	担当者名
10.5	なし	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康に必要な事柄ができるようにする。 (小1段階) (思判表力) 体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。 (小1段階) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、楽しく運動しようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。 (小1段階)
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導する		【A 体づくり運動遊び】 (知及技) 教師と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かすこと。(小1段階) (思判表力) 緊張を緩めたり、リラックスしたりしながら心地よさを表現できる。 (小1段階) (学・人) 教師の言葉かけに注目し、体づくり運動遊びをしようとする態度を身につける。(小1段階)	(知・技) ふれあい体操などを通して、触れられると心地よいという体と心の関係に気づき、リラックスできる。また、体を移動したり姿勢を変えたりすることで体の一部を動かすことができる。 (思・判・表)皮膚や関節への優しい刺激を受容し、感じた心地よさを表現できる。 (主学)繰り返し活動に取り組む中で、徐々に好きな刺激や運動に気付くことができる。	A「体づくり運動遊び」	・「ふれあい体操」の音楽を流し、体の部位を言いながら、その部位に触れたり一緒に動かしたりする。 ・ホットタオルや冷たいおしぼり、足湯等を使って、皮膚への感覚刺激をうながす。
		【B ボール遊び】 (知及技) 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすこと。 (小1段階) (思判表力) ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できる。 (小1段階) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとする事。 (小1段階)	(知・技) ボールを使って体を動かすことを楽しんでいる。 (思・判・表) ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを自分なりの表現で伝えようとしている。 (主学) 教師の言葉かけに注目し、ボール遊びをしようとしている。	E「ボール遊び」	・ボールを使って遊ぶ。 ・たくさんの風船を大きな袋につめたマットに、生徒を乗せて小さく揺らしたりダイナミックに揺らしたりして体を動かす。

	F「表現遊び」 (知及技) 教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かすこと。(小1段階) (思判表力) 音楽の流れている場所で身体を動かすことの楽しさや心地よさを表現すること。(小1段階) (学・人) 簡単な合図や指示に従って表現遊びをしようとする事。(小1段階)	(知・技) 音楽を聴きながら、体を動かすことを楽しんでいる。 (思・判・表) 音楽を聴きながら、体を動かすことの楽しさや心地よさを表現しようとしている。 (主学) 教師の言葉かけに注目し、表現遊びをしようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察で評価する。	F「表現遊び」	・手遊び歌や身体の部位の歌、簡単な動作指示の歌を聴いて、歌に合わせて身体に触れたり動かしたりする。
留意点引 継ぎ等				

令和 5 年度 中学部 3 年（訪問Ⅱ課程 C） 職業・家庭
年間指導計画

単位数/ 配当時数	教科書／副教材等	担当者名
7	なし	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	【職業分野】
	(知及技) 職業について関心を持ち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。(中 1 段階)
	(思判表力) 将来の職業生活に必要な事柄に触れ、課題や解決策に気づき、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。(中 1 段階)
	(学・人) 将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。(中 1 段階)
	【家庭分野】
	(知及技) 家庭の中の自分の役割に気づき、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。(中 1 段階)
	(思判表力) 家庭生活の中から課題を見いだして解決策を考え、実践し、学習したことを伝えるなど、日常生活において課題を解決する力を養う。(中 1 段階)
	(学・人) 家族や身近な人々とのやりとりを通して、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。(中 1 段階)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導する	3.5	(知及技) コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作を教師と一緒にすることができる。 (中・職業 1 段階 B ア)	(知・技) コンピュータ等の身近な情報機器の初歩的な操作を教師と一緒にやっている。	・報機器の活用 「情報機器に触れよう」	スイッチ教材で遊ぼう ・タブレット端末を使っていろいろなアプリやゲームをやってみよう。
	3.5	(思判表力) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことを他者に伝えることができる。 (中・職業 1 段階 B イ)	(思・判・表) コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことを自分なりの表現で他者に伝えている。		・写真や動画をみてみよう
	3.5	(学・人) コンピュータ等の情報機器を使って生活を工夫しようとする態度を身に付けることができる。 (中・職業 1 段階)	(主学) コンピュータ等の情報機器と身近な生活についての関連に気づき、生活を工夫する方法について教師と一緒に考えている。		
	3.5	(知及技) 自分の成長を振り返りながら、家庭生活の大切さを知ることができる。(中・家庭 1 段階 A ア (ア))	(知・技) 自分の成長の振り返りを通して、家庭生活の大切さに関する教師の問いかけに応答している。	・家族・家庭生活 「自分の成長と家族」	・家族や家庭生活、に関わる絵本を読む。
	3.5	(思判表力) 家族とのやりとりを通して、家族を大切にする気持ちを育み、よりよい関わり方に気づき、それらを他者に伝えることができる。 (中・家庭 1 段階 A ア (イ))	(思・判・表) 家族とのやりとりを通して、家族を大切にする気持ちを持ち、よりよい関わり方に気づき、それらを他者に伝えている。		・父の日、母の日等にプレゼントを製作し手渡す。
	3.5	(学・人) よりよい家庭生活の実現に向けて、生活を工夫して考えようとする態度を身に付けることができる。	(主学) よりよい家庭生活の実現に向けて、教師と一緒に生活を工夫するために必要な事柄を考えている。		・進級 (今年で○年生、○歳になったよ ・私と家族 ・母の日、父の日について ・敬老の日について

		(中・家庭1段階)			
留意点引 継ぎ等					

令和 5 年度 中学部 3 年 訪問 II 課程 C 外国語科
年間指導計画

単位数 ／ 配 当 時 数	教科書／副教材等	担当者名
3.5	なし	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。 (小)			
		(思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合う力の素地を養う。(小)			
		(学・人) 外国語を通して、外国語の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 (小)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容

年間を通して指導する	3.5	(知及技) 英語の歌や日常生活になじみのある語などを聞き、音声やリズムに親しむこと。 (小(1)イ(ア)) (思判表力) 身近で簡単な事柄について、注目して見聞きしようとする事。 (小(2)ア) (学・人) 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を深め、進んでコミュニケーションを図ろうとすること。	(知・技) 英語の挨拶や簡単な会話文の歌を視聴し、日本語とは違う外国語の音の違いやリズムを楽しむことができる。 (思・判・表) 英語での挨拶や教師からの質問に注目し反応することができる。 (主学) 季節行事の歌や動画等を通して異文化の行事に慣れ親しむ事ができる。 【評価資料】活動の様子を観察で評価する。	・ Greetings 一挨拶 ・ Weather 一天気 ・ Feelings 一気持ち ・ Body Parts 一身体 ・ Color 一色 ・ Number 一数字 ・ Seasons 一季節	・ 挨拶 一始まりの挨拶 「Hello song」の歌を聴き「I'm good.」等の英語での挨拶、やり取りを聞き、授業の始まりを意識する。 - 一終わり・別れの挨拶 「See you later, Alligator」の歌を聴き「Good bye!」のかけ声で、授業の終わりを体感する。 ・ 天気 「How's the weather?」「It's sunny.」等、天気に関する英語のやり取りを聞く。 ・ 気持ち 「If you happy then clap your hands.」の歌を聴きながら、手を叩いたり、足踏みをしたりする。 ・ 身体の一部 「Head Shoulder Knees and Toes」の歌を聴きながら身体の一部に触れる。 ・ 色 「What's your favorite color」の歌を聴き、色に注目しながら、色の名前や音の違いを聞く。 ・ 季節行事 季節に関する英語の歌を聴き、異文化に触れながら、季節の移り変わりを感じる。 1 学期：七夕 「Twinkle Twinkle Little Star」 2 学期：ハロウィン 「Hello, Trick or Treat」 2 学期：クリスマス 「We wish a Merry Christmas」 3 学期：卒業・進級 「Thank you」
留意点引継ぎ等					

令和 5 年度 中学部 3 年（訪問課程 IIC グループ） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等		担当者名
3.5		なし		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度				
年間目標		人と関わる心地よさを感じ取り、人と関わろうとする意欲をもつ。		
学期	時 数	題材の目標	題材名	題材の活動内容
1 学期	3.5	①身近な大人の存在に気づき、親しみの気持ちを育む。 ②身近な大人と関わる心地よさを感じ、安心感をもてるようにする。 ③家族との関わりに心地よさや喜びを感じ、安心感をもてるようにする。 ④素晴らしい音楽を聴いたり、美しい映像や美しい光を見て、心を動かすことができるようにする。	①新しい先生 【親切、思いやり】 ②先生と遊ぼう 【友情、信頼】 ③体を動かして遊ぼう 【友情、信頼】 ④お母さん、お父さんありがとう 【家族愛、家庭生活の充実】 ⑤すばらしいもの、美しいもの 【感動、畏敬の念】	①新しい担任と一緒に触れ合い遊びをする。 ・スキンシップ ②担任と一緒に触れ合い遊びをする。 ・リラックスできる遊び ・マッサージ ③体を動かして遊ぶ中で、教師に身を任せ、教師への信頼感・安心感を育てる。 ④母の日、父の日に向けて ・絵本の読み聞かせ ・感謝の気持ちを伝えよう ⑤音楽鑑賞 ・美しい映像を天井に投影して鑑賞する。 ・クリスマスイルミネーション 部屋を暗くして天井や壁に投影する。
2 学期				
3 学期				
留意点引継ぎ等				

令和5年度 中学部3年 訪問Ⅱ課程C 総合的な学習 年間指導計画

単位数/ 配当時 数	教科書／副教材等	担当者名
3.5	なし	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できる。 (思判表力) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現ができる。 (学・人) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して		(知及技) 卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 (学・人) 就業・生活体験に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技) 卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 (主学) 就業・生活体験に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	・職業や自己の将来に関する課題「キャリアパスポート」	・キャリアパスポート 学期・学年始めに目標設定をする 学期・学年終わりに振り返りを行う
		(知及技) 卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 (学・人) 就業・生活体験に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技) 卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 (主学) 就業・生活体験に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている	・職業や自己の将来に関する課題「就業・生活体験」	・就業・生活体験 (校内実習含む) ・事前事後学習及び報告会

留意点引
継ぎ等

令和5年度 中学部3年 訪問Ⅱ課程C 特別活動 年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等			担当者名
3.5		なし			
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己表現を図ろうとする態度を養う。			
		生徒会活動	異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。		
		学校行事	全校又は学年の生徒で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。 (1) 儀式的行事 学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けにする。 (2) 文化的行事 平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようにする。 (3) 健康安全・体育的行事 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る 安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵 かん養、体力の向上などに資するようにする。 (4) 旅行・集団宿泊の行事 平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにする。 (5) 勤労生産・奉仕的行事 勤労の尊さや生産の喜びを体得し、職場体験活動などの勤労観・職業観 に関わる啓発的な体験が得られるようにするとともに、共に助け合って生 きていくことの喜びを体得し、ボランティア活動などの社会奉仕		
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3.5	(知及技) 学校行事や生徒集会等に参加したり、動画を視聴したりして、身近な集団に気付き、教師と一緒に関わることができる。	(知・技) 学校行事や生徒集会等の動画を見たり聞いたりして、身近な集団に気付き、教師と一緒に関わろうとしている。	学校生活を楽しもう！ ・学校行事に参加しよう ・生徒会活動や学部行事に参加しよう	・スクーリングや録画を視聴して、学校行事に参加する。 ・スクーリングや録画を視聴して、生徒会活動や学部行事、学年交流に参加する。 ・訪問教室の友達と録画視聴を通して、交流を楽しむ。
2 学期		(思判表力) 身近な大人や身近な集団の中で、自分の気持ちや思いを伝えることができる。	(思・判・表) ・身近な大人や身近な集団の中で、表情や体の動き、声を出して、自分の気持ちや思いを伝えようとしている。	・学年の友達と交流しよう ・訪問の友達と交流しよう	[儀式的行事] ・始業式 ・入学式 ・終業式 ・卒業式 ・終了式 [文化・体育的行事] ・運動会
3 学期		(学・人) 身近な大人や身近な集団活動を通して、関わりや集団活動を楽しみ、自分から関わりをもとうとする態度を身に付ける。	(主学) ・身近な大人や身近な集団活動をの中で、関わりや集団活動を楽しみ、自分から関わろうとしている。		[生徒会活動] ・新入生歓迎会 ・生徒総会 ・生徒会長選挙 ・卒業生を送る会 ・1年間を振り返ろう！
留意点 引継ぎ等					